

歴史遺産の案内人育成へ

長和町と明治大学、きょう講座開講

明治大学と長和町は、きょう5日から講座「歴史遺産ボランティア育成プロジェクト」を開講する。文部科学省から委託を受けた同大学が社会連携を締結している同町と共同で、「長和町歴史遺産の案内人」を育成しようとする。講師は同大学の教授、同町の学芸員らのほかに俳優の原田大二郎さんも務める。11月までの全18講座。

協会などと協力して多角的な方面から歴史遺産を学んだ受講生に町のガイドを務めてもらうなど観光振興に役立つ何らかの施策を考えたいという。その施策の中で同協

「わ」を役立てる計画。同町でのプロジェクトの受講者は32人のうち5人が町外。町内からの講師は「黒曜石について」同町教育委員会学芸員の大竹幸恵さん、「文化財について」同町教育委員会学芸員の勝見譲さんが講義を行う。

「地域活性化の事例」と題し講義。7月には同大学出身の原田大二郎さんが「朗読を楽しむ」と題し、人の心に響く話術について2日間、合計8時間講義する。

同町教育委員会では「町の貴重な歴史遺産を深く知る案内人ができることで、黒曜石を世界遺産にしようという活動への町民の盛り上がりにつながるかもしれない」と期待する。閉講は11月27日で、成果発表と修了式を行う。



長和町の歴史遺産の一つ「長久保宿」

同大学は同省から「社会人の学び直し」プロジェクトを推進し、平成19年度から社会連携を結ぶ中から5

明大教授や町学芸員、原田大二郎さん講師

自治体とさまざまな人材育成プロジェクトを行う計画を立て、これまでに4自治体で実施してきた。同町は計画自治体、最後の5自治体目。県内では平成19年度に飯田市で「地場産業の新規事業創造人材の育成プロジェクト」を行った。プロジェクト終了後、同町教育委員会では信州・長和町観光

「黒曜石を世界遺産へ」意識高揚に期待



ガイドブック「エコハイク 歩く博物館inながわ」

会がこのほど、1万部を作成し全戸配布した。町内8つの散策路を写真と地図で紹介したガイドブック「エコハイク 歩く博物館inながわ」がこのほど、1万部を作成し全戸配布した。町内8つの散策路を写真と地図で紹介したガイドブック「エコハイク 歩く博物館inながわ」

初日の5日は同町和田の和田コミュニティセンターで開講式に続き、さつそうく同プロジェクトコーディネーターで同大学の杉原重夫教授が「黒曜石と長和町」と題し1

H21年6月5日
東信ジャーナル